

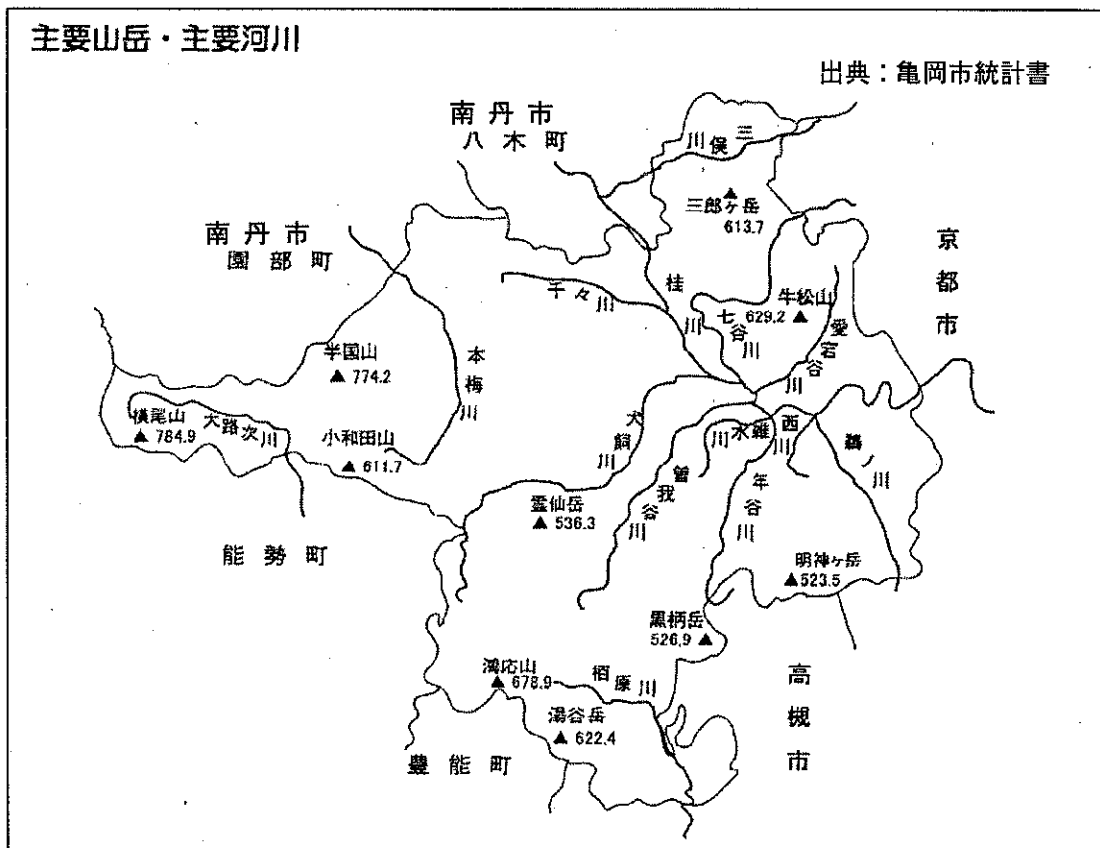
## 亀岡市の環境の現況

### 1. 地形・気象

亀岡市は、中心部を貫流する桂川と市域をふち取る山々に代表される、豊かな水と美しい緑に恵まれた自然環境を有しています。しかし、都市化の進展や農山村の暮らしの変化、外来生物の繁殖、地球温暖化など地球規模での環境問題など、自然環境の変化が懸念されています。

亀岡盆地は、大昔、湖だったといわれています。古来より、亀岡盆地は2種類の水害に苦しめられてきました。ひとつは、多くの川で見られる普通の氾濫で、平地の勾配が緩やかであるため、水害は広範囲に及びました。もうひとつの水害は、下流がせき止められて起こります。保津峡は狭く険しいため大雨を流しきれず、太古の湖に戻るかのように水を溜めてしまいます。せき止められた水は川を逆流し、平地にまであふれます。

亀岡市は夏と冬の気温差が大きく、朝と夜の気温差も大きいという盆地特有の気候です。しかし、この盆地特有の昼夜の気温差が農作物の甘みを増し、高品質の農産物を生み出します。



## 2. 人口・土地利用

亀岡市の人口は平成13年をピークに減少傾向にあり、現在は93,600人前後で推移しています。一方、世帯数は年々増加傾向にあります。年齢別人口は、60歳代が最も多くなっています。

地目別土地調査面積によると、山林が52%と半数以上を占め、次いで田が30%、宅地が11%となっています（平成21年1月）。林野面積を見ると、8割以上が私有林です。

農地の用途別農地転用実績については、駐車場・材料置き場への転用が最も多くなっています。農家の戸数は、平成2年と平成17年を比較すると、約3割減少しています。

## 3. 交通

国道9号をはじめ幹線道路において、朝・夕のピーク時のみならず、恒常的な交通渋滞が発生しており、環境への負荷が問題になっています。一方で、路線バスをはじめとする公共交通の利用者数は低迷しています。

## 4. エネルギー・資源循環

現在、地球温暖化が大きな問題となっています。亀岡市においても、都市化の進展とともに温室効果ガスの排出量が増加傾向にあります。このため、平成21年1月には、各主体が協働して亀岡市域の温室効果ガス削減に向けて取り組む亀岡市地球温暖化対策地域推進計画を策定しました。

資源の再利用については、亀岡市では平成14年度から集団回収（新聞・雑誌・ダンボール・古布）、平成15年度から不燃性粗大ごみの資源化を進めています。その結果、平成15年度以降はごみの資源化量が3倍以上に増加しました。資源化率は、平成15年度に一気に上昇しました。資源ごみの内訳をみると、集団回収による資源化が最も多くなっています。

## 6. 環境・衛生

市内主要河川の水質は、おおむね2.0mg/l以下となっており、環境基準のA類型を満たす状況にあります。亀岡市の河川には、岡山県との2地域にのみ生息し、国の天然記念物に指定されているアユモドキなど多様な水生生物が多く生息しています。しかし、都市化の進展など環境の変化に伴い、身近に観察されたホタルやメダカなどが減少しています。亀岡市にとって環境のシンボルであるアユモドキを守るため、関係する民間団体と行政機関が一体となって亀岡市保津地域アユモドキ保全協議会を結成して、保護増殖事業に取り組んでいます。

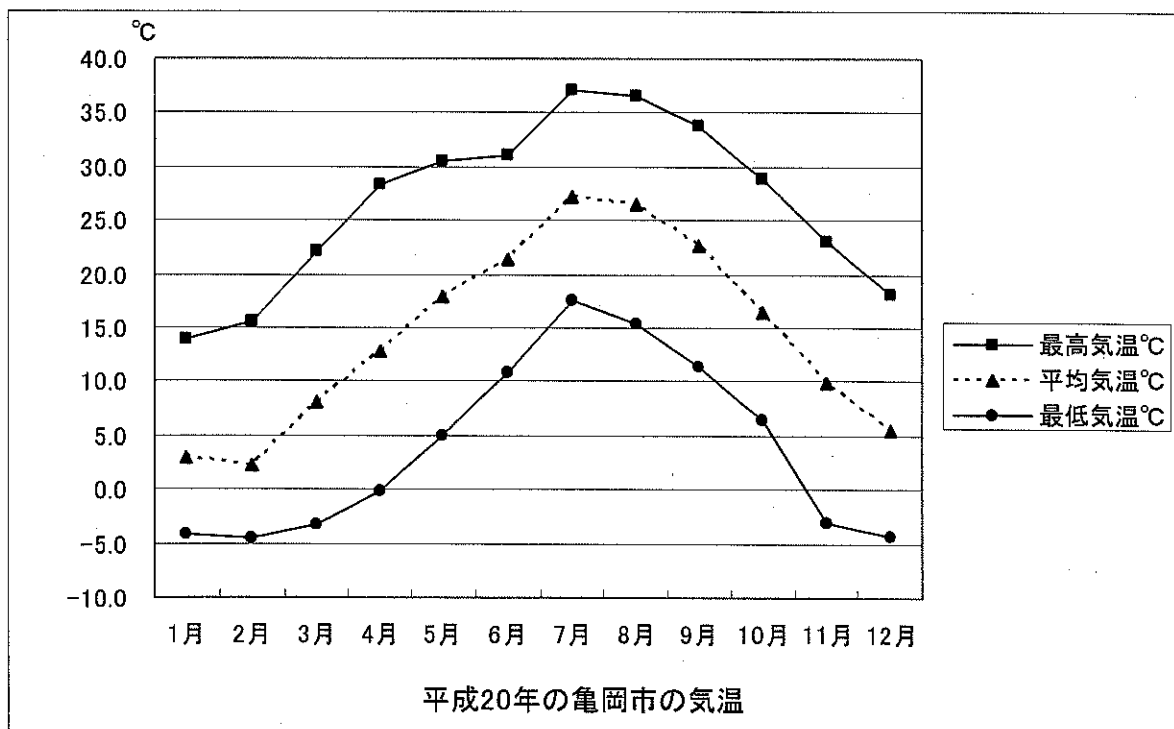
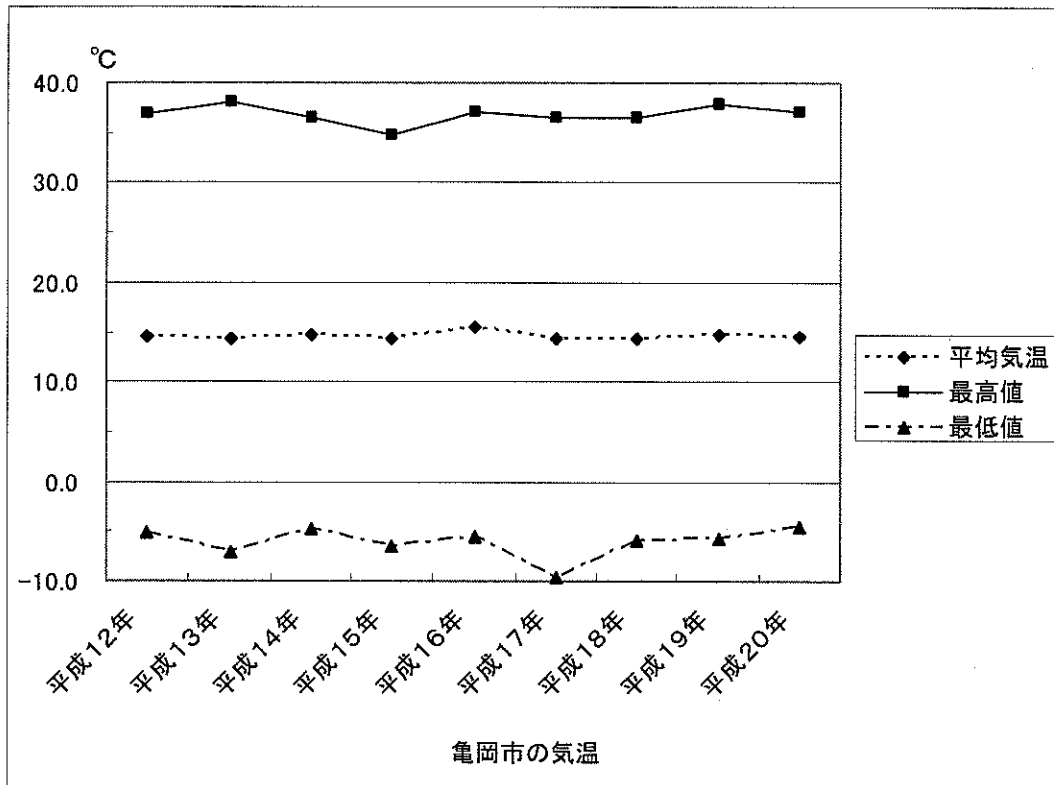
公共下水道の整備状況を見ると、平成20年度時点で、亀岡市の人口の約74%にあたる約7万人が排水人口となっています。

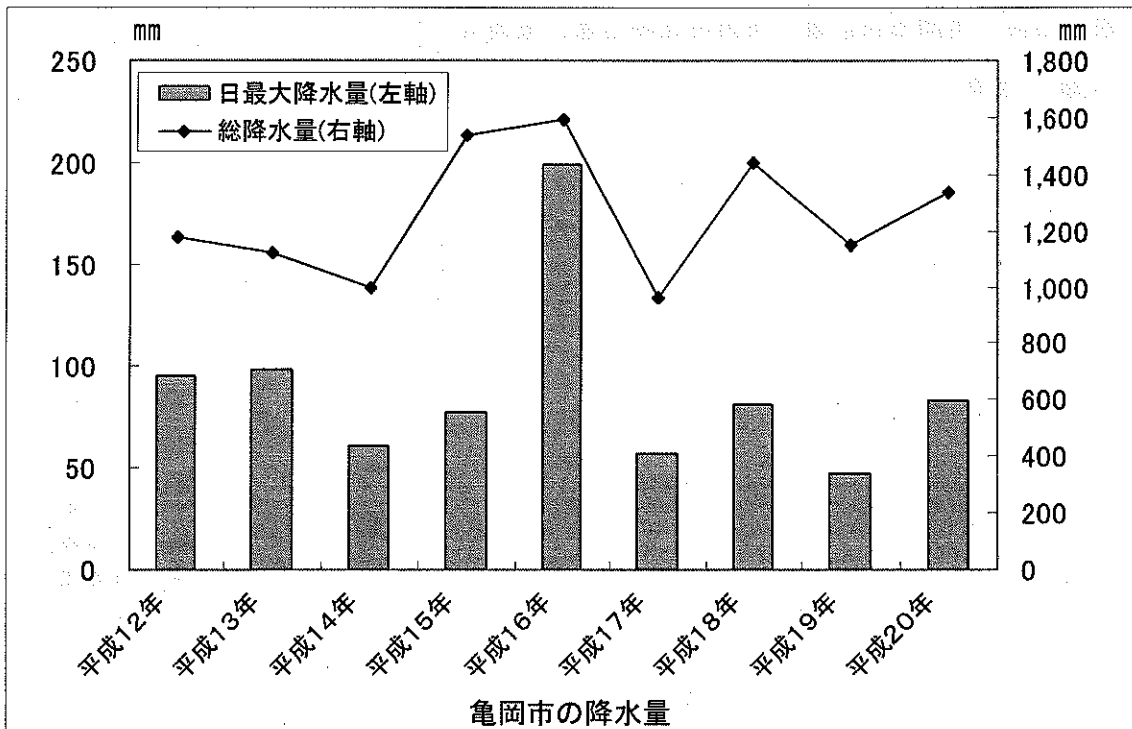
## 7. 観光

亀岡市にはトロッコ列車、保津川下り、湯の花温泉などの観光施設のほか、亀山城跡をはじめとした歴史風情のある城下町が残されています。亀岡への観光入込客数を見ると、圧倒的に日帰りが多くなっていますが、消費額は日帰りと同率（やや日帰りが多い）になっています。亀岡へは、トロッコ列車を利用した日帰り観光が多いことがうかがえます。

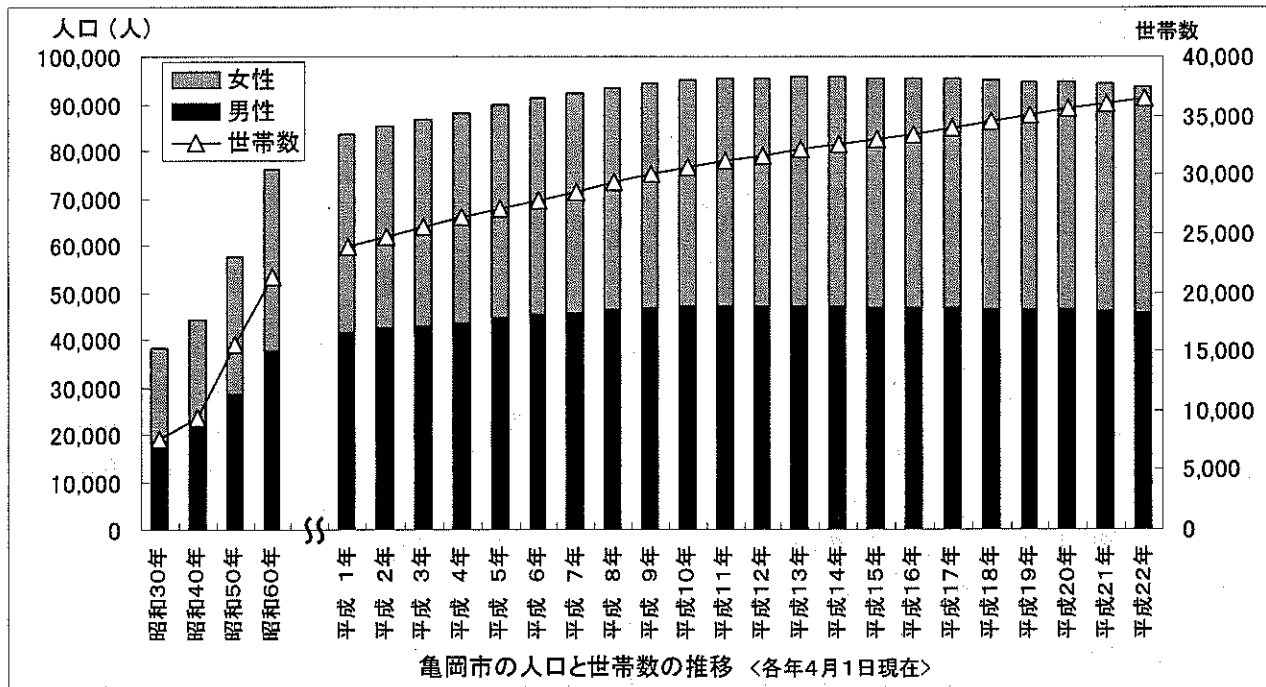
■図表（出典：亀岡市統計書、亀岡市環境白書、亀岡市HP）

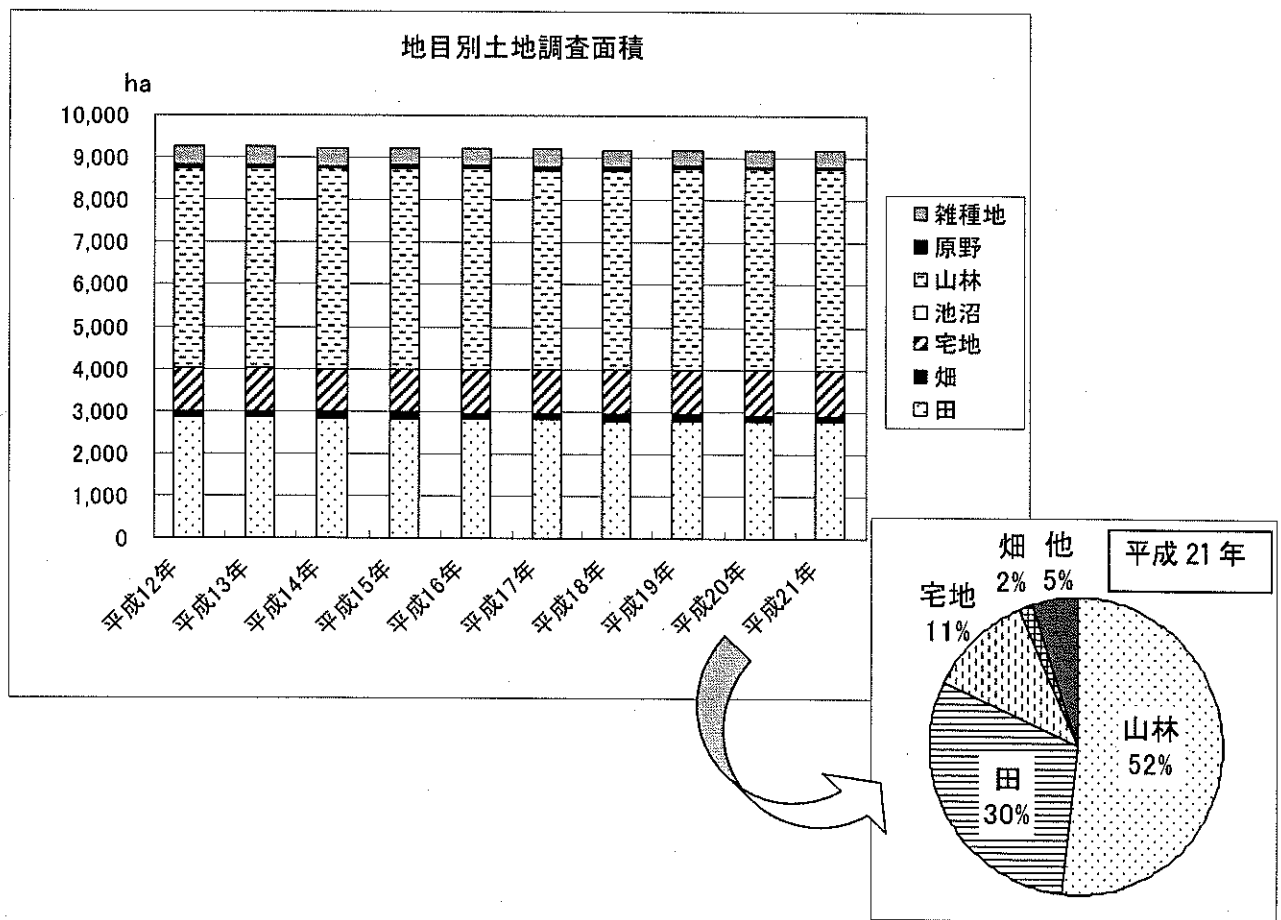
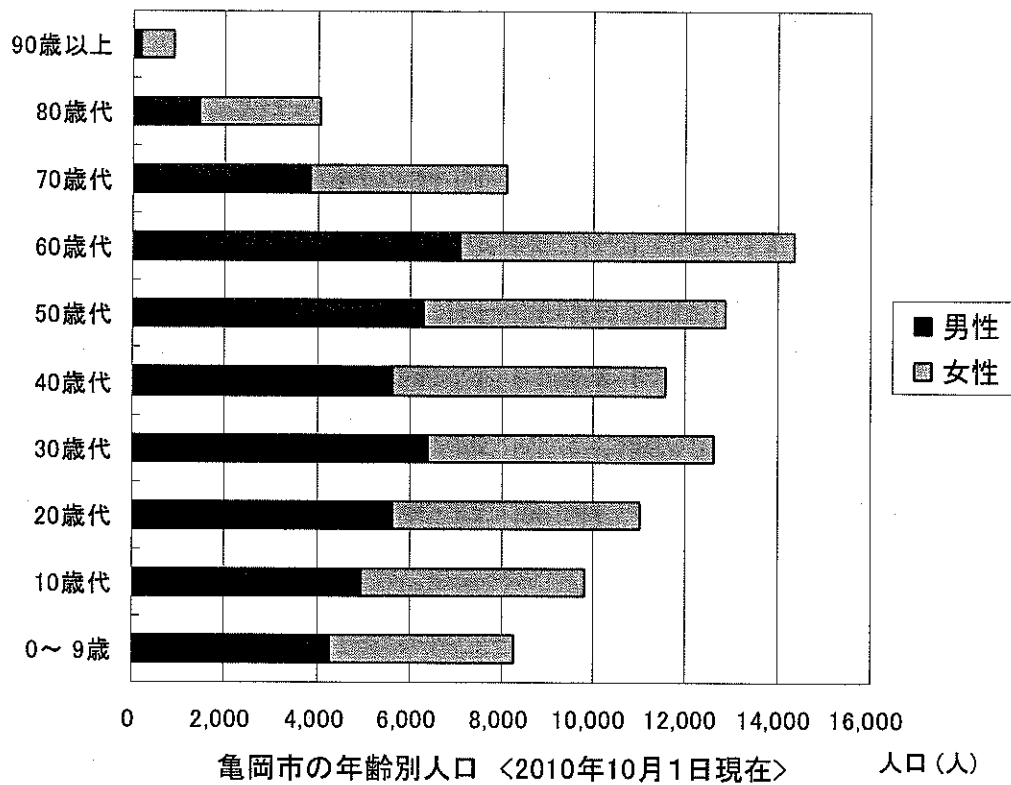
1. 地形・気象

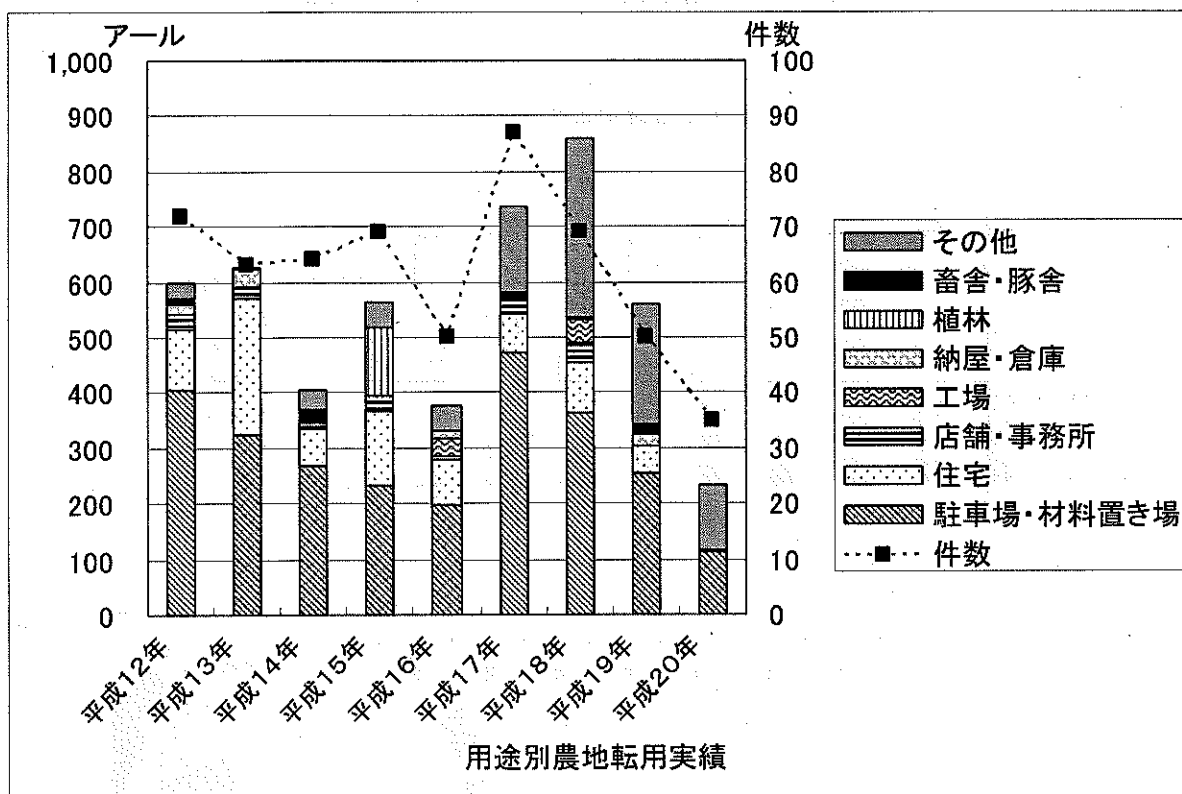
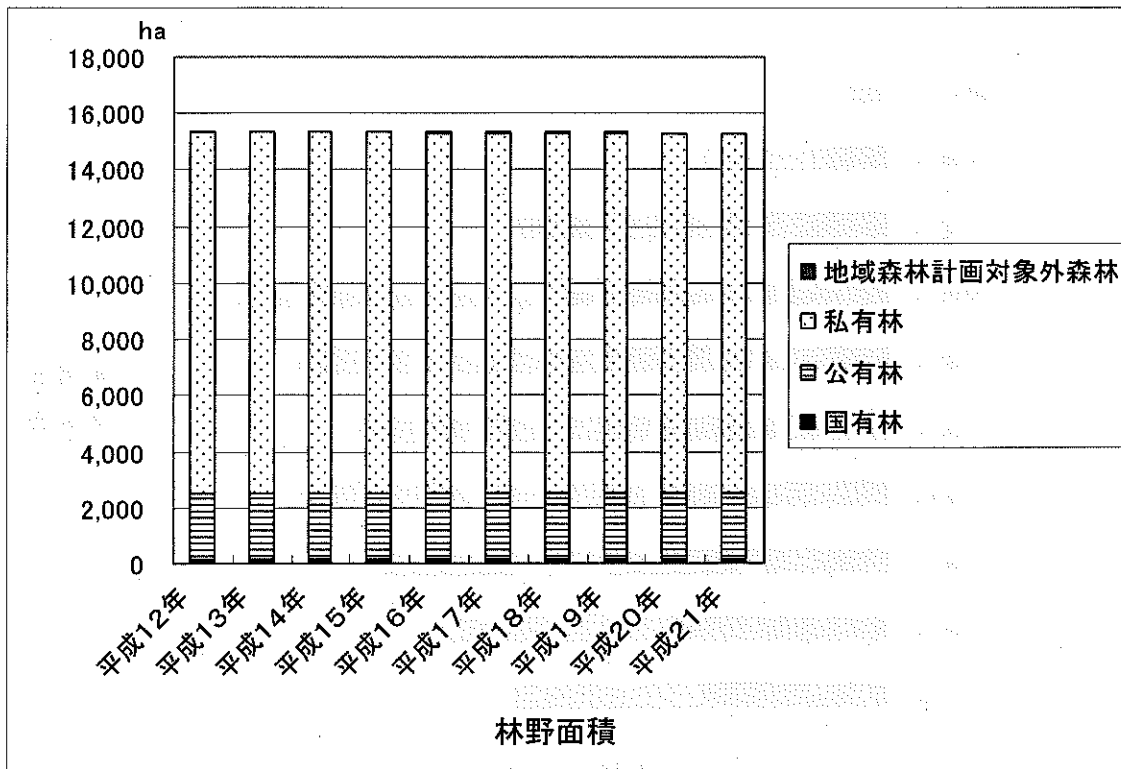


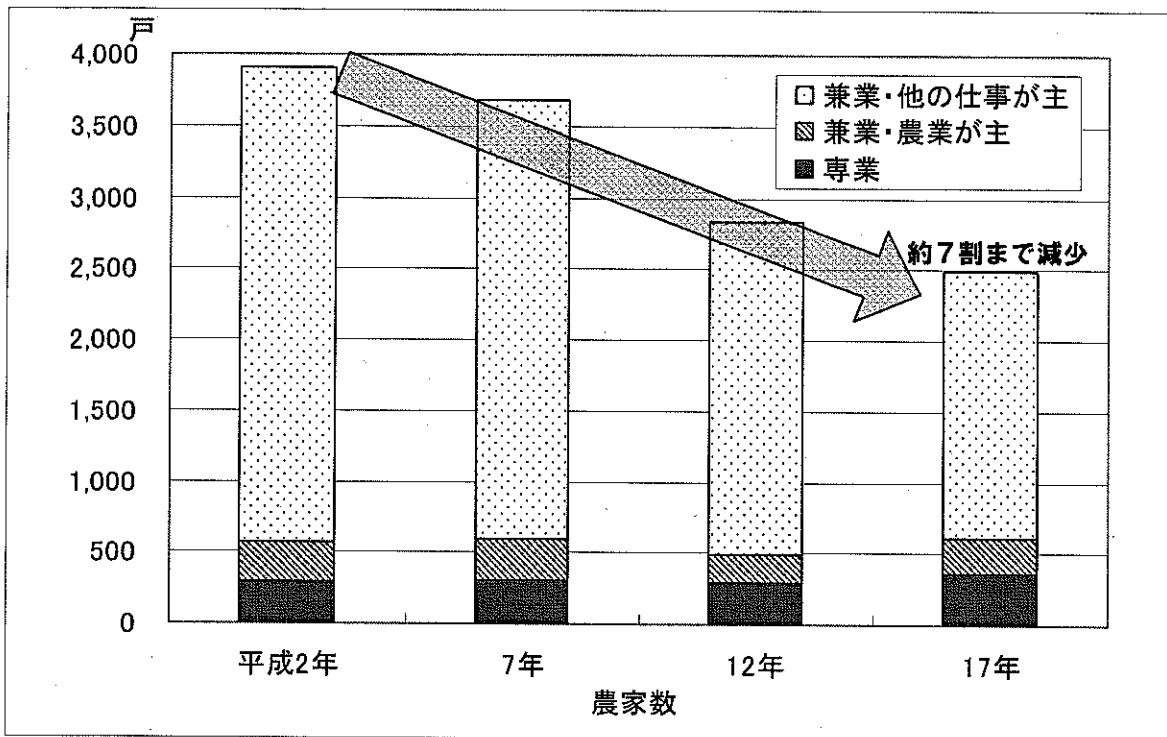


## 2. 人口・土地利用









### 3. 交通

#### 国道9号の交通量

(平成17年10月4日調査)

観測地点名	自動車類(台/7:00~19:00)						合計
	乗用車類			貨物車類			
	乗用車	バス	計	小型貨物車	普通貨物車	計	
亀岡市安野野々神	13,357	97	13,454	3,186	2,526	5,712	19,166
亀岡市大井町	12,903	91	12,994	3,088	2,061	5,149	18,143
亀岡市篠町 (つづき)	13,136	144	13,280	3,780	2,880	6,660	19,940

観測地点名	自動車類(台/7:00~19:00)						
	昭和58年度	昭和60年度	昭和63年度	平成2年度	平成6年度	平成9年度	平成11年度
亀岡市安野野々神	18,593	19,442	18,706	18,489	20,401	20,310	18,981
亀岡市大井町	16,553	17,042	17,332	13,043	16,890	19,524	18,597
亀岡市篠町	...	23,717	19,853	21,018	21,001	18,768	19,286

資料: 府南丹土木事務所(全国道路交通情勢調査報告-平日12時間交通量調査)

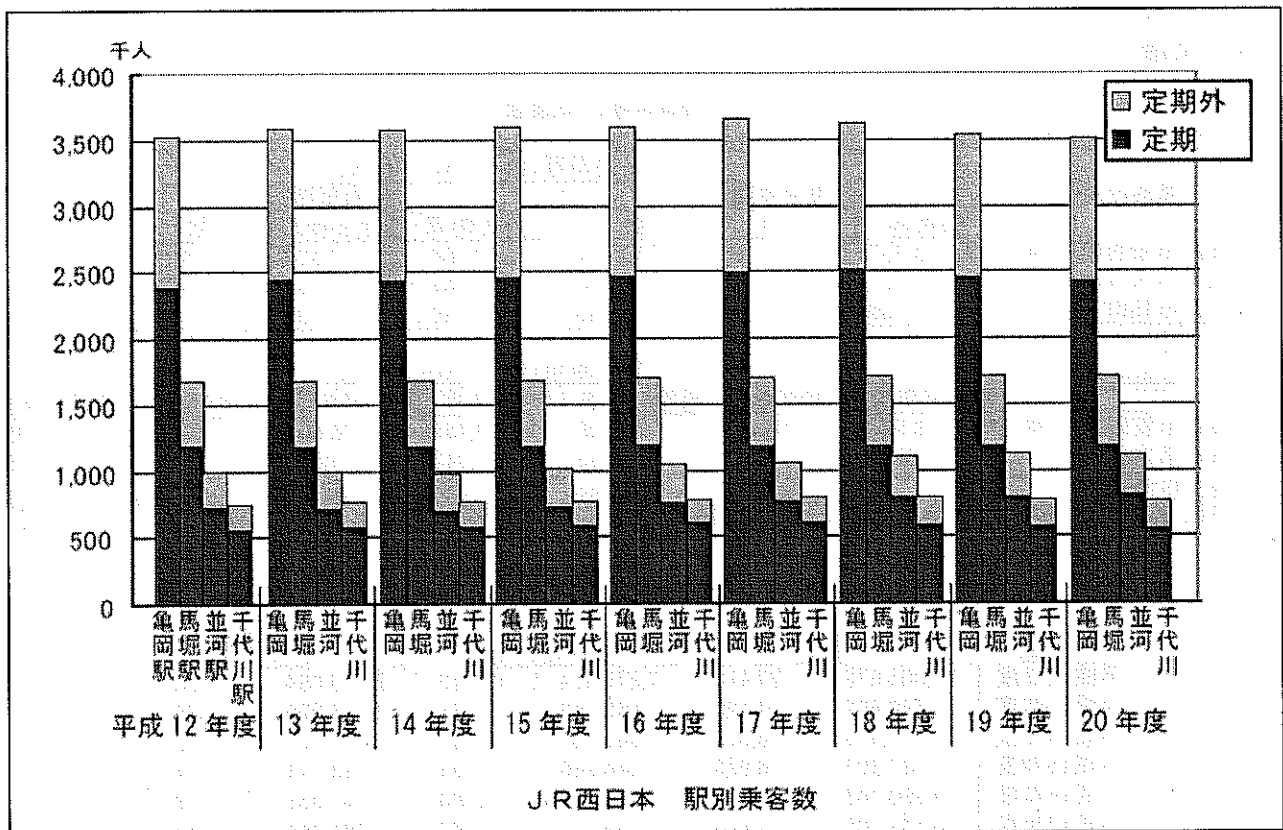
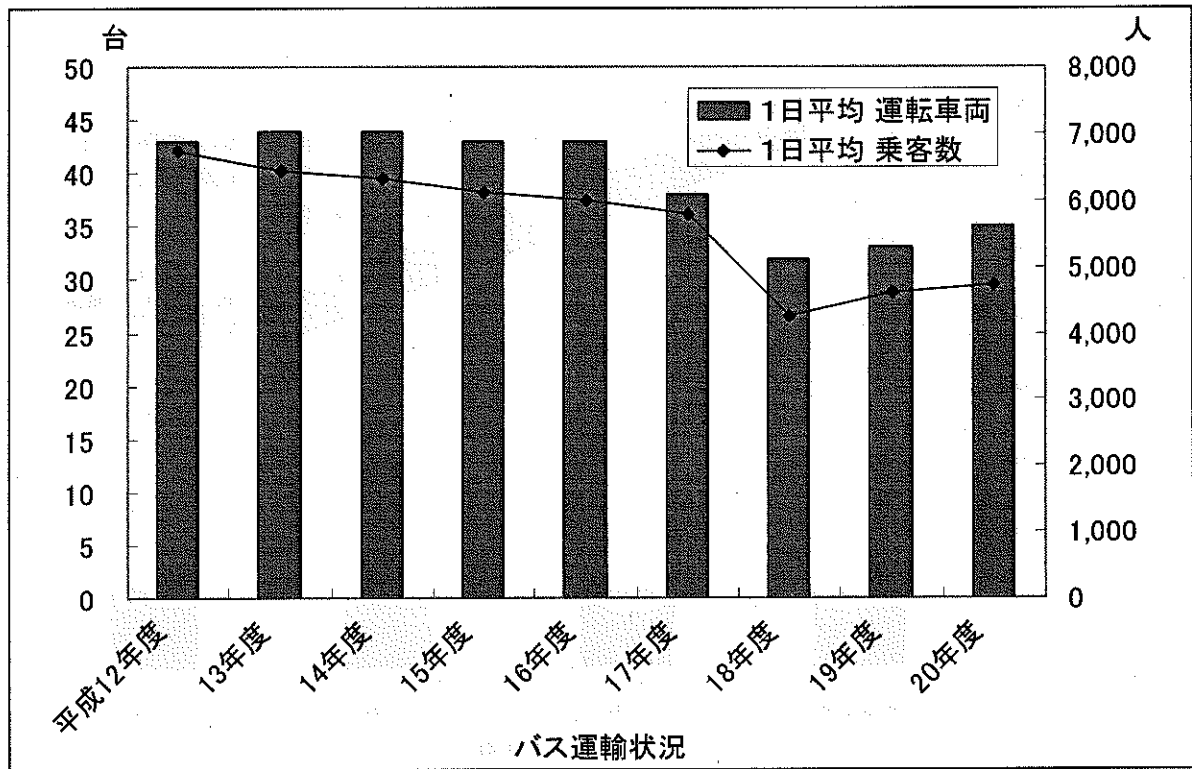
#### 京都縦貫自動車道出入交通量

(単位=台)

年度	総数		篠本線料金所		篠料金所	
平成12年度	10,005,578	( 27,413 )	7,278,894	( 19,942 )	2,726,684	( 7,470 )
平成13年度	9,898,662	( 27,120 )	7,165,353	( 19,631 )	2,733,309	( 7,489 )
平成14年度	9,791,819	( 26,826 )	7,069,552	( 19,368 )	2,722,267	( 7,458 )
平成15年度	9,827,397	( 26,923 )	7,044,286	( 19,299 )	2,783,111	( 7,624 )
平成16年度	9,890,783	( 27,098 )	7,183,198	( 19,680 )	2,707,585	( 7,418 )
平成17年度	10,154,180	( 27,820 )	7,359,116	( 20,162 )	2,795,064	( 7,658 )
平成18年度	9,985,517	( 27,358 )	7,296,451	( 19,990 )	2,689,066	( 7,367 )
平成19年度	9,865,742	( 26,956 )	7,249,619	( 19,808 )	2,616,123	( 7,148 )
平成20年度	9,686,811	( 26,539 )	7,200,009	( 19,726 )	2,486,802	( 6,813 )

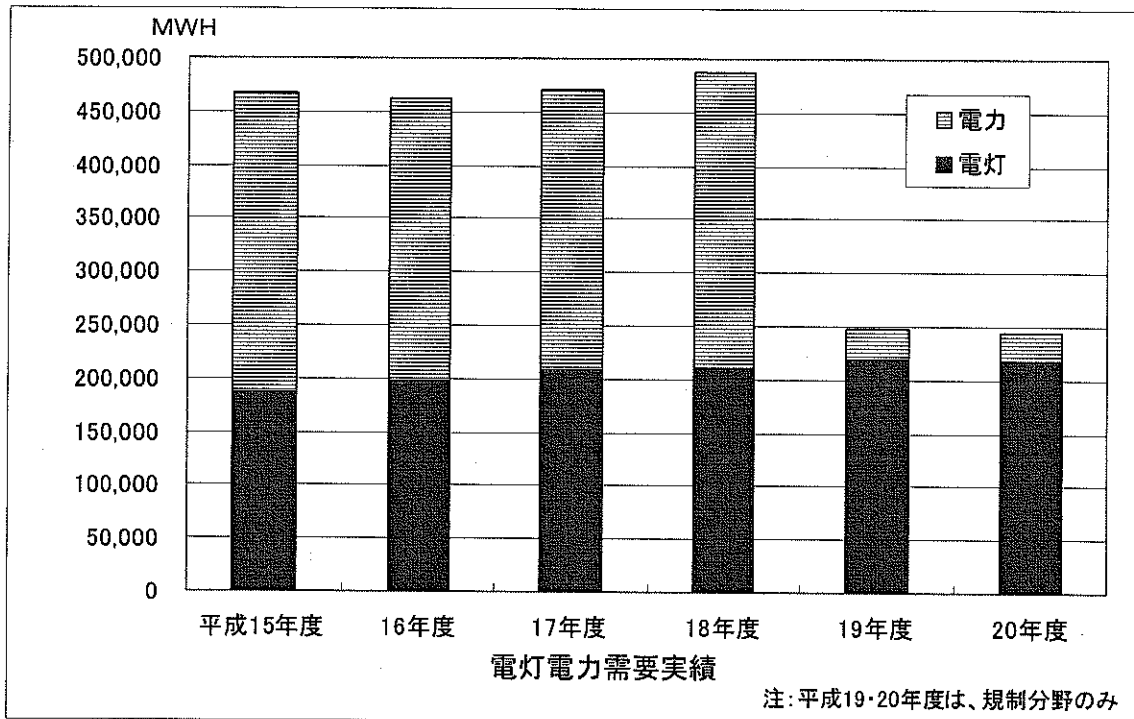
資料: 西日本高速道路(株)関西支社京都丹波道路管理事務所

注: ( )は日平均交通量

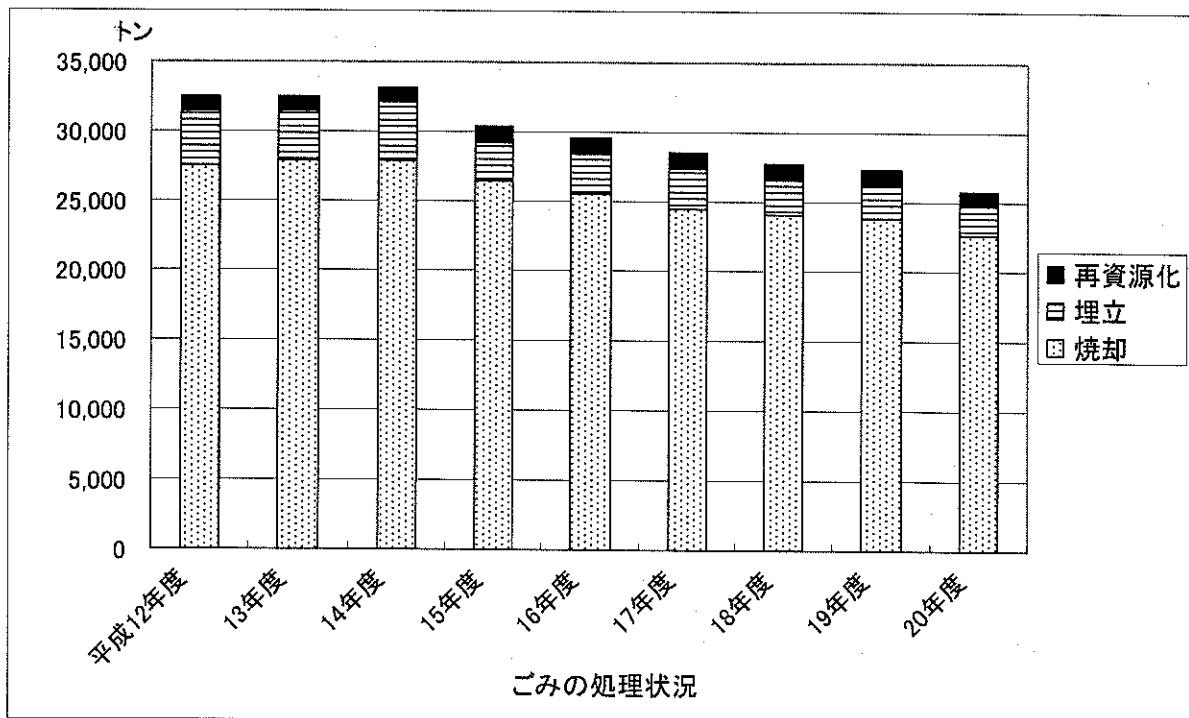


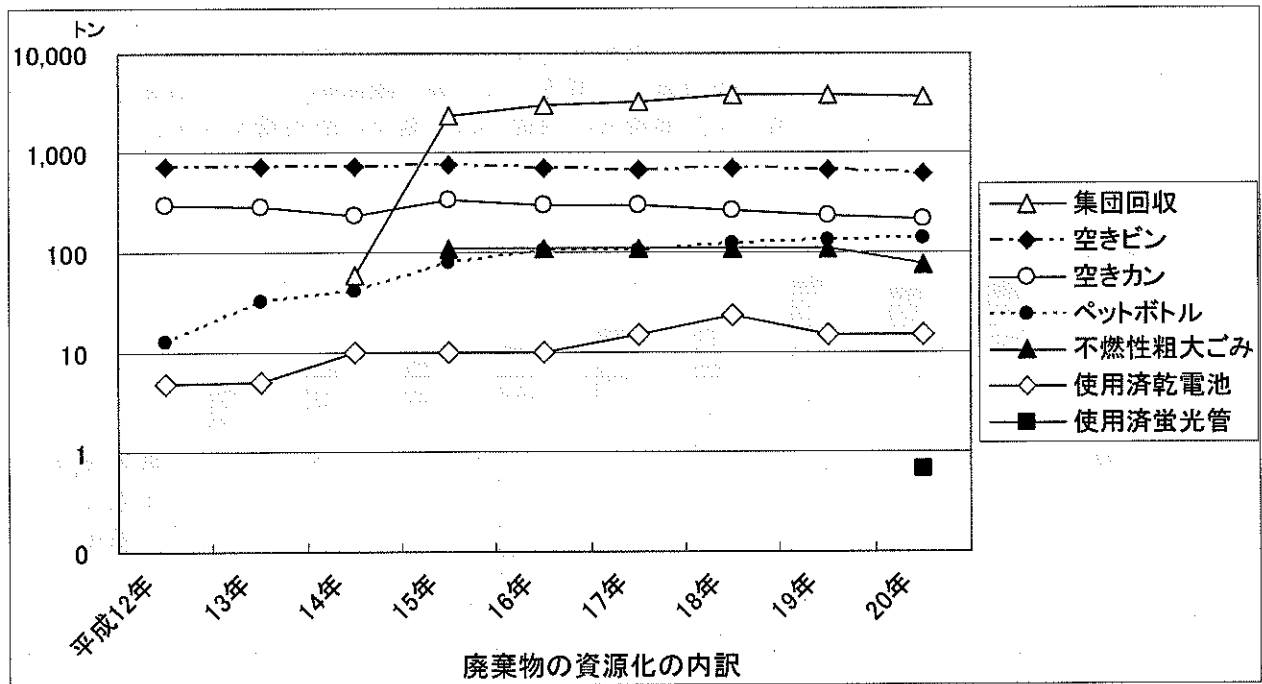
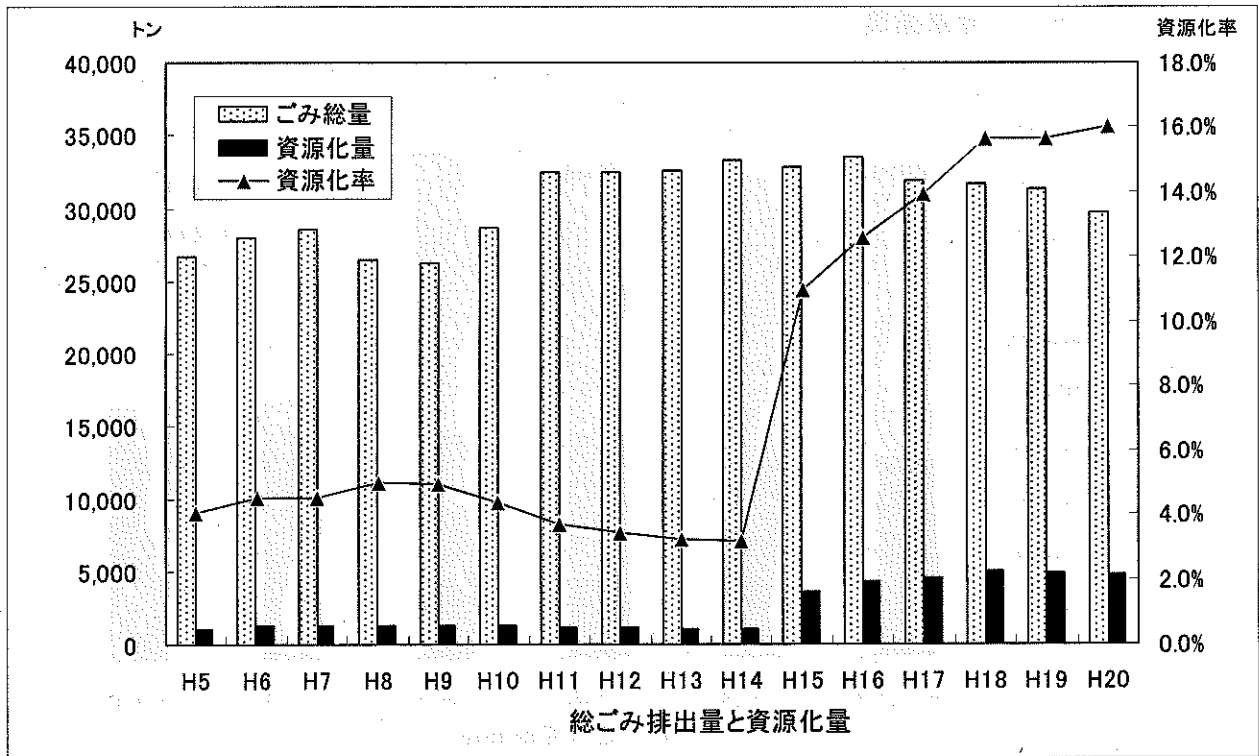


#### 4. エネルギー・資源循環

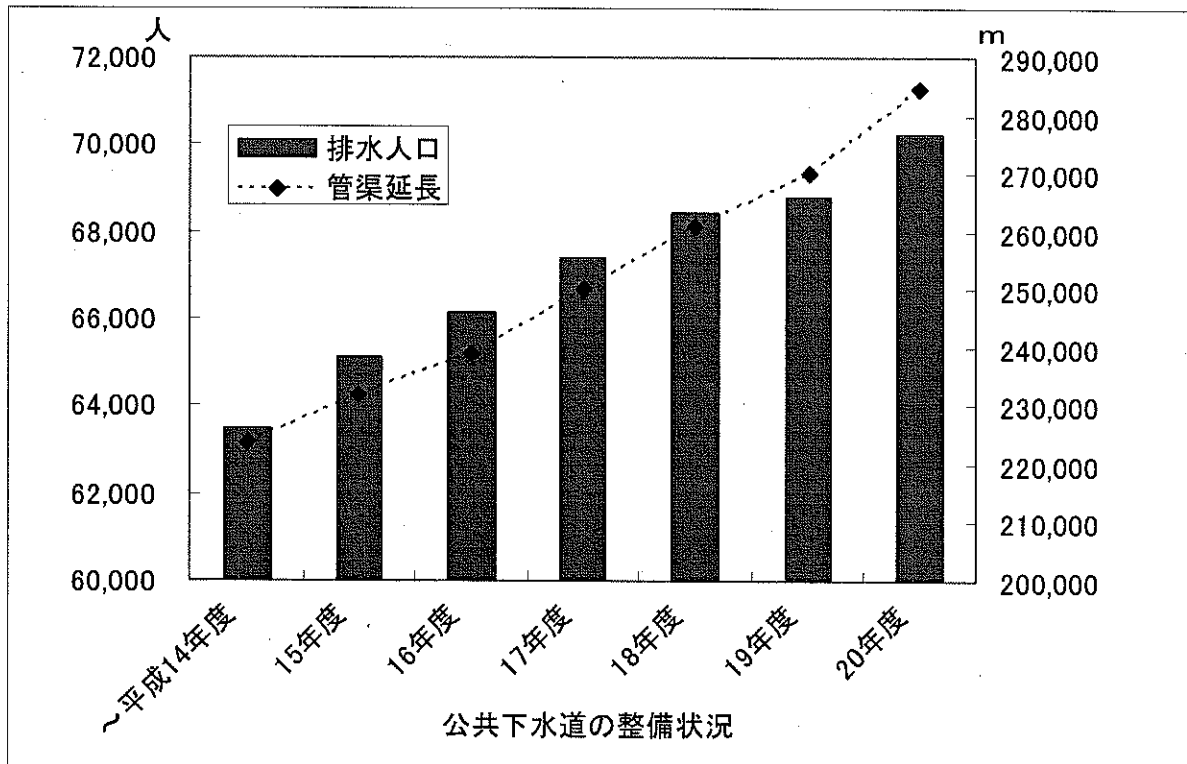
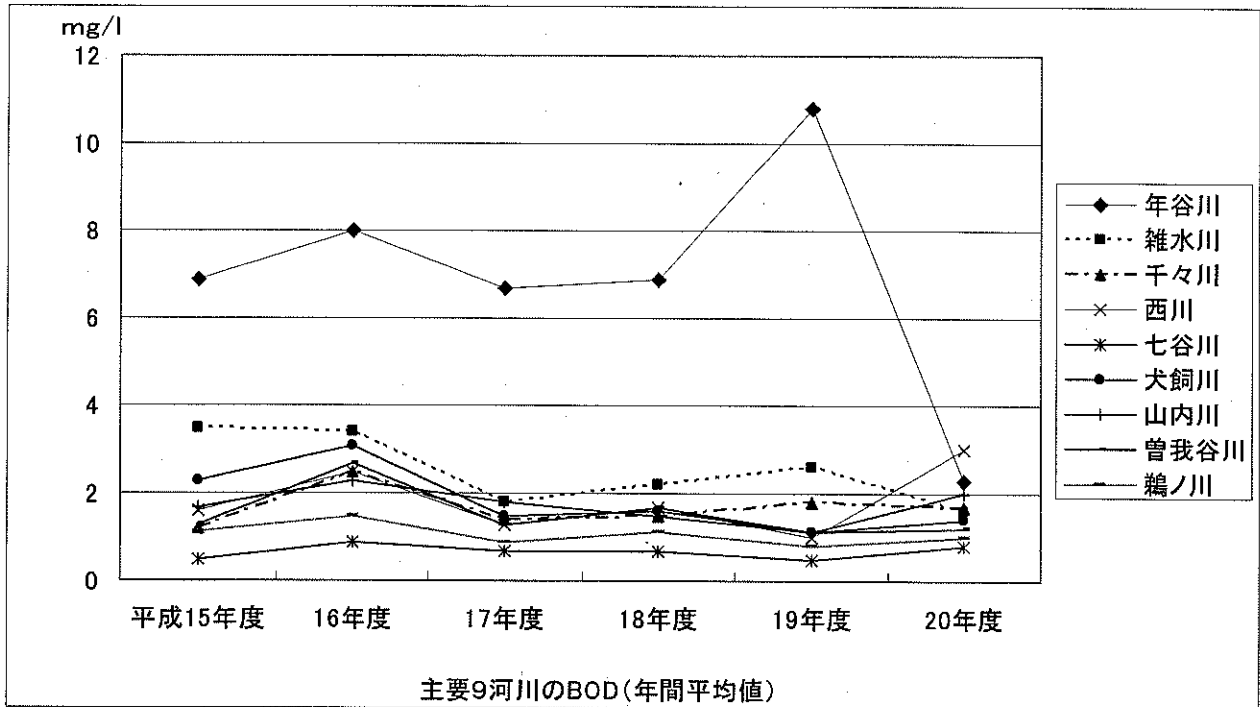


※ 電灯とは一般家庭で使用する電力と街灯等に使用される電力の使用量を、電力とは工場で機械動力として消費される電力及び業務用に消費される電力の使用量を表す。

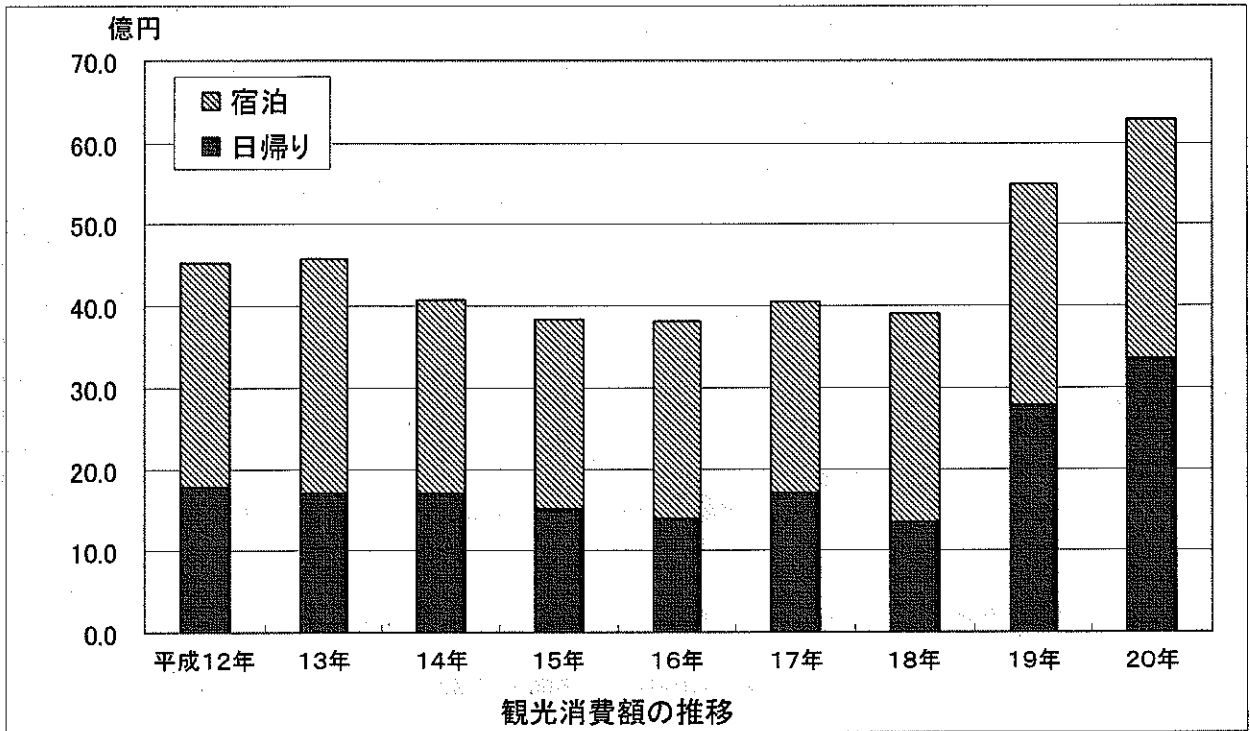




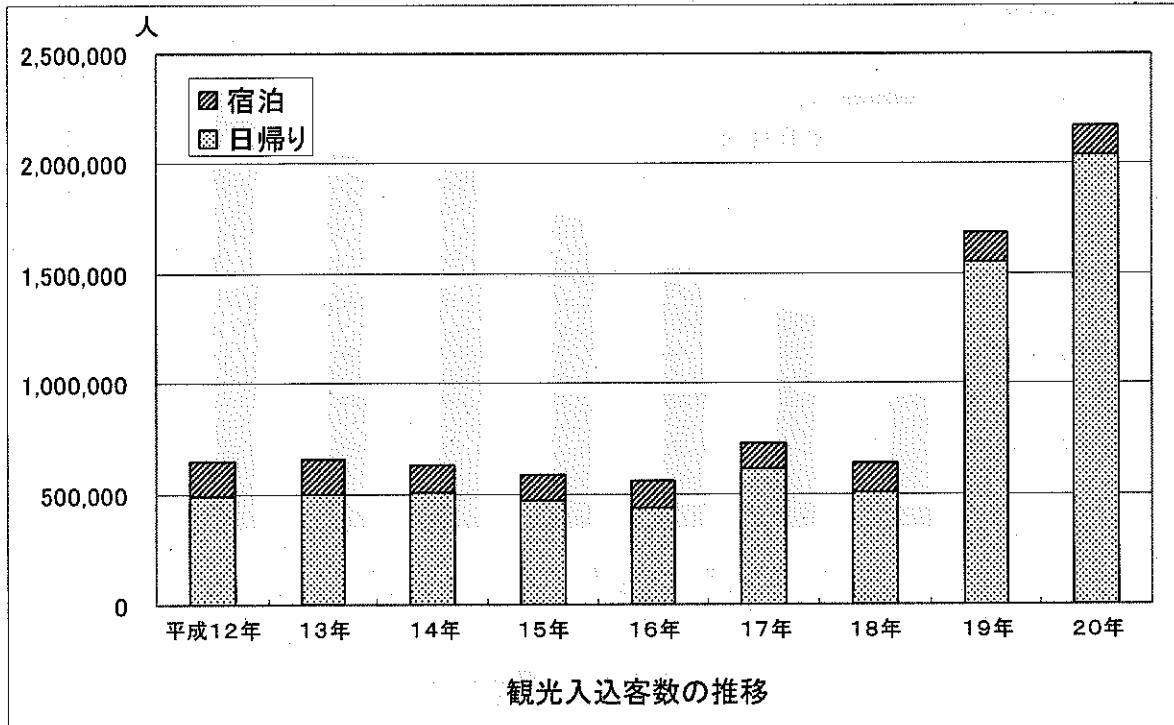
## 6. 環境・衛生



## 7. 観光



注：平成19年からトロッコ列車分を追加



注：平成19年からトロッコ列車分を追加

